

狭山ヶ丘高等学校校漢詩俳句同好会 令和五年度大会結果報告

第十五回(令和五年度) 諸橋轍次博士記念漢詩大会 受賞作品

十一月十二日(日)に新潟県三条市の諸橋轍次記念館にて「第十五回諸橋轍次博士記念漢詩大会」がおこなわれ、学生の部におきまして本校漢詩俳句同好会から五名の生徒が表彰されました。

【学生の部 優秀賞】 三年A組 依田 悠杜

早春遊望

江聲細細渡虹橋 江声細々 虹橋を渡る

黄鳥啾啾望碧霄 黄鳥啾々 碧霄を望む

遊客乘輿京洛路 遊客乘輿 京洛の路

天街鬧市競妖嬈 天街鬧市 妖嬈を競ふ

(解釈)

せせらぎがかすかに聞こえ 虹の橋を渡る
ウグイスが和やかに鳴く中で 青空を見上げる
遊客は御輿に乗って目指す 都への道
繁華街は賑やかで 艶やかな花があちこちで咲き誇っている

【学生の部 優秀賞】 二年C組 前久保 妃菜

三伏

棟花藤枕納微涼 棟花藤枕 微涼に納む

簷燕求棲繞畫梁 簷燕棲を求め 画梁を繞る

返照老鴉玄鬢影 返照老鴉 玄鬢の影

水螢白藕舞清光 水螢白藕 清光に舞ふ

(解釈)

オウチの花とフジで作った枕が かすかな涼気を含み
屋根の端にいたツバメが棲家を求め 美しく梁の間を飛び回った
夕日が老いたカラスと 黒いセミの影を映し
水辺でホタルと白いハスが 月光のもとで舞っていた

【学生の部 奨励賞】 三年A組 上利 真之

初冬

空林荒径葉堆池 空林荒径くうりんくわうけい 葉池えいぢに 堆うづたかし

寒鳥飛来日暮時 寒鳥かんとう飛かび来きる 日暮ひくれれの時

老菊带霜山寺影 老菊らうぎく霜しもを带たぶ 山寺さんじの影

白雲残照独吟詩 白雲はくうん残照ざんせう 独ひとり吟詩ぎんしを吟うたず

(解釈)

寂しい森の荒れ果てた道 落葉が池にうずたかく積もっている

渡り鳥が飛び来たる 日暮れの時

色褪せた菊に霜が帯びている 山寺の風景

白雲や夕焼けのもとで 独り詩を吟ずる

【学生の部 奨励賞】 三年D組 川瀬 翔二郎

水村夏夜

薰風渡水満潮香 薰風くんぷう水みづを渡わたりて 潮香うしづか満みつ

望月雲収照夜光 月つきを望のぞめば雲くも収こまり 夜よを照てらして光ひかり

蕩漾釣篷回棹去 蕩漾たうやうたる釣篷てうぼう 棹さおを回まわして去いり

蓑翁独酌世塵忘 蓑翁さゐろう独ひとり酌しやくみて 世塵せぢん忘わする

(解釈)

薰風が水を渡って 潮の香りが満ちている

月を見上げると雲は整っており 夜を照らし輝き

ゆったりと浮かんだ釣り舟が 竿を回して通り過ぎ

蓑笠をかぶった老翁が独り酒を酌みつつ 世俗を忘れている

【学生の部 奨励賞】

三年A組 高岡 凜

新晴

巍巍秀嶽緑陰村

巍巍たる秀岳 緑陰の村

紅雨霏霏煙景昏

紅雨霏霏として 煙景昏し

杜宇幽鶯聲緩渡

杜宇幽鶯 声緩く渡り

蜂遊蝶舞百花繁

蜂遊び蝶舞ひ 百花繁し

（解釈）

高くそびえる山峰 青葉の茂った木陰の村

赤い花に雨がしきりに降り注ぎ 霞たなびく春景色は薄暗い

ホトトギスやウグイスの 鳴き声が遠くまでゆったりと響き渡り

蜂は飛び蝶は舞って 様々な花が一斉に咲き誇っている